

2009年8月期 第2四半期業績 及び通期業績見通し

徳永 敏久

株式会社ファーストリテイリング
経営管理部長

1

経営管理部長の徳永です。
2009年8月期第2四半期業績、及び
通期の業績見通しについてご説明します。

I. 第2四半期決算概要	P3	~	P14
II. 2009年8月期業績予想	P15	~	P22
III. ご参考資料	P23		

【資料文中のグループ事業の表示について】

各グループ事業の構成は、以下のとおりです。

国内ユニクロ事業： 株式会社ユニクロの数値が表示されています。

海外ユニクロ事業： 中国、香港、韓国、シンガポール、英国、米国、フランスにおけるユニクロ事業が含まれています。

国内関連事業： 国内を中心に展開しているアパレル小売事業(ユニクロ事業除く)のことで、

キャビン、GOVリテイリングが含まれています。

グローバルブランド事業： グローバルに展開中、もしくは展開する可能性のあるブランド事業(ユニクロ事業除く)のことで、

コントワー・デ・コトエ事業、プリンセス タム・タム事業、リンク・セオリー・ホールディングスが
含まれています。

【将来予測に関するご注意】

本資料に掲載されている業績予想、計画、目標数値などのうち、歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報に基づき作成した将来情報です。実際の業績は、経済環境、市場の需要・価格競争に対する対応、為替などの変動により、この業績予想、計画、目標数値と大きく異なる場合があります。

【連結】2009年8月期 第2四半期実績(累計)

売上高 : 3,574億円 (前年同期比 +13.0%)
営業利益 : 698億円 (前年同期比 +28.7%)
経常利益 : 631億円 (前年同期比 +18.2%)

	2008年8月期 2Q累計実績	2009年8月期 2Q累計実績				単位: 億円
		直近予想 (1/9時点)	実績(累計)	前年同期比		
				前年同期比	直近予想比	
売上高 (売上比)	3,164 100.0%	3,490 100.0%	3,574 100.0%	+13.0%	+2.4%	
売上総利益 (売上比)	1,569 49.6%	1,740 49.9%	1,780 49.8%	+13.5% (+0.2p)	+2.3%	
販管費 (売上比)	1,026 32.4%	1,100 31.5%	1,081 30.3%	+5.4% (-2.1p)	1.6%	
営業利益 (売上比)	542 17.2%	640 18.3%	698 19.5%	+28.7% (+2.3p)	+9.2%	
経常利益 (売上比)	534 16.9%	600 17.2%	631 17.7%	+18.2% (+0.8p)	+5.3%	
当期利益 (売上比)	286 9.1%	350 10.0%	355 9.9%	+24.1% (+0.8p)	+1.6%	

2009年8月期第2四半期実績(累計): のれん償却額 23億円
 2008年8月期第2四半期実績(累計): のれん償却額 23億円

3

2009年8月期 第2四半期累計連結業績についてご説明します。

売上高は3,574億円、前年同期比13.0%増、
 営業利益は698億円、28.7%増、
 経常利益は631億円、18.2%増、
 増収増益を達成致しました。



【連結】第2四半期(累計) 増収増益の要因

売上高 3,574億円 (前年同期比 +13.0%)

国内ユニクロ事業 +429億円

海外ユニクロ事業 +28億円

国内関連事業(ビュー連結) +16億円

グローバルブランド事業 71億円

売上高総利益率 49.8% (前年同期比 +0.2p)

国内ユニクロ事業での改善 +0.9p

売上高販管費率 30.3% (前年同期比 2.1p)

国内ユニクロ事業での改善 2.4p

営業利益率 19.5% (前年同期比 +2.3p)

経常利益率 17.7% (前年同期比 +0.8p)

円高の進行による為替差損の発生 53億円 持分法投資損失 13億円

4

売上高は、3,574億円、前年同期比410億円、13.0%の増収でした。

主な増収の要因は、国内ユニクロ事業が429億円、海外ユニクロ事業が28億円、今期からビュー事業を新たに連結したことによる国内関連事業が16億円増収となったことなどです。なお、欧州での景気減速、為替の影響からグローバルブランド事業は71億円の減収となっております。

売上高総利益率は、前年同期比0.2ポイント改善いたしました。これは、国内ユニクロ事業において、売上高総利益率が0.9ポイント上昇したことが主な要因です。

販管費は、前年同期比で55億円増えておりますが、売上高販管費率は2.1ポイント改善しております。これは、売上が好調であった国内ユニクロ事業において販管費率が2.4ポイント改善したことが主な要因です。

これらの結果、営業利益は698億円、前年同期比28.7%の増益となり、営業利益率は19.5%と前年同期比で2.3ポイント改善いたしました。

なお、経常利益につきましては、631億円、前年同期比18.2%増、経常利益率は17.7%と、前年同期比で0.8ポイントの改善にとどまっております。

これは、円高の進行により海外子会社向け貸付金にかかる評価差損などで為替差損が53億円発生したこと、当社の持分法関連会社であるリンク・セオリー・ホールディングス社において発生した純損失44億円の当社持分相当分13億円を持分法投資損失として計上したことによります。

単位: 億円

		2008年8月期	2009年8月期	
		2Q累計実績	2Q累計実績	前年同期比
国内ユニクロ事業	売上高	2,532	2,962	+ 17.0%
	営業損益	505	688	+ 36.1%
	(売上比)	20.0%	23.2%	+ 3.2p
海外ユニクロ事業	売上高	158	186	+ 17.9%
	営業損益	7	16	+ 110.9%
	(売上比)	4.8%	8.6%	+ 3.8p
国内関連事業	売上高	227	244	+ 7.3%
	営業損益	11	11	-
	(売上比)	-	-	-
グローバルブランド事業	売上高	240	169	29.6%
	営業損益	52	24	52.7%
	(売上比)	21.8%	14.7%	7.1p

適用為替レート

2009年8月期第2四半期(累計) 1USD= 96.0円 1EUR=127.6円 1GBP=148.8円 100KRW= 7.1円

2008年8月期第2四半期(累計) 1USD=110.9円 1EUR=162.5円 1GBP=224.5円 100KRW=12.0円

こちらのスライドでは、グループ事業別の業績を示しております。

好調な売上を背景に大幅増益を達成

売上高 : 2,962億円 (前年同期比 +17.0%)

売上総利益 : 1,437億円 (前年同期比 +19.1%)

営業利益 : 688億円 (前年同期比 +36.1%)

単位: 億円

	2008年8月期 2Q累計実績	2009年8月期 2Q累計			
		直近予想 (1/9時点)	実績	前年同期比	直近予想比
売上高 (売上比)	2,532 100.0%	2,850 100.0%	2,962 100.0%	+17.0%	+3.9%
売上総利益 (売上比)	1,206 47.6%	1,377 48.3%	1,437 48.5%	+19.1% (+0.9p)	+4.4%
販管費 (売上比)	700 27.7%	737 25.9%	749 25.3%	+6.9% (-2.4p)	+1.7%
営業利益 (売上比)	505 20.0%	640 22.5%	688 23.2%	+36.1% (+3.2p)	+7.5%

6

国内ユニクロ事業ですが、売上高は2,962億円、前年同期比17.0%増、営業利益は688億円、36.1%増と、大幅な増収増益を達成致しました。

第1四半期に続き第2四半期も冬物販売が好調で、春物の立ち上がりも順調だったことから、売上高は直近の予想を112億円、粗利益は60億円上回りました。一方で、販管費の上ぶれが12億円にとどまったことから、営業利益は計画を48億円上回っております。

2Q(累計) 売上高 2,962億円 (前年同期比 +17.0%)

- 第2四半期累計既存店売上高 +12.9% (客数 +9.2%、客単価 +3.4%)

1Q 既存店売上高 前年比 +17.7% (客数 +10.8%、客単価 +6.2%)

2Q 既存店売上高 前年比 + 7.9% (客数 + 7.5%、客単価 + 0.4%)

客数増の背景

積極的な販促活動による集客効果

期間中のキャンペーンを昨年比で2回追加

(マイクロフリースルームセットキャンペーン、パーカキャンペーン)

- ユニクロ直営店 前年同期末比 8店舗増 (2009年2月末 746店舗)

前年比増減率		2009年8月期						
		1Q	12月	1月	2月	2Q	2Q累計	3月
既存店計	売上高	+17.7%	+10.3%	+5.7%	+4.2%	+7.9%	+12.9%	+7.9%
	客数	+10.8%	+9.8%	+6.0%	+4.1%	+7.5%	+9.2%	+8.7%
	客単価	+6.2%	+0.4%	0.3%	+0.0%	+0.4%	+3.4%	0.7%

FC店舗20店舗を除く

7

売上高17.0%増の要因は、主に既存店売上高が12.9%増となったことです。内訳は、客数が9.2%増、客単価が3.4%増となっております。

第1四半期の既存店売上高は17.7%増となりました。

また、第2四半期3ヶ月間の既存店売上高は7.9%増となっており、その内訳は客数が7.5%増、客単価が0.4%増となっております。

第1四半期に続き、第2四半期においても積極的な販促活動を展開したことが集客につながったと考えております。

今期は、マイクロフリースルームセット、パーカという2つのキャンペーンを新たに実施しました。

なお、3月の既存店売上高は7.9%増と好調でした。

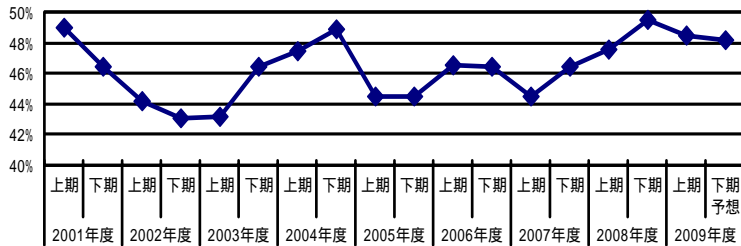
2Q(累計) 売上高総利益率 48.5% (前年同期比 +0.9p)

値引・限定販売のコントロール強化の継続

秋・冬・春、各シーズンの早めの立上げに成功

販売好調による値引販売の減少

売上高総利益率の推移



売上高総利益率は48.5%と前年同期比0.9ポイント上昇いたしました。

これは、値引・限定販売のコントロールの強化を継続したこと、また、6ヶ月を通じて秋シーズン、冬シーズン、春シーズンとも、早めの立ち上げに成功したことが貢献しております。

また、販売が好調だったことにより、値引き販売が減少していることも要因です。

【国内ユニクロ事業】 販管費

2Q(累計) 売上高販管費率 25.3% (前年同期比 2.4p)

人件費率 1.2ポイント 売上好調、大型店での効率化
 (0.2ポイントはFRへの業務移管に伴うもの)
 賃借料率 0.5ポイント 固定家賃店舗で効率改善

	08/8 2Q累計		09/8 2Q累計			
	実績	(売上比)	実績	(売上比)	増減	(売上比)
販管費合計	700	27.7%	749	25.3%	+48	2.4p
人件費	246	9.7%	252	8.5%	+5	1.2p
広告宣伝費	110	4.4%	127	4.3%	+17	0.1p
賃借料	185	7.3%	201	6.8%	+16	0.5p
減価償却費	12	0.5%	14	0.5%	+1	+0.0p
その他	145	5.8%	153	5.2%	+8	0.6p

9

販管費は前年同期比で48億円増加していますが、大幅な増収により対売上高比率では2.4ポイント改善しています。

まず人件費率は、売上が計画を上回ったこと、大型店を中心とした店舗での作業効率が向上したことにより、前年に比べて1.2ポイント改善しております。

なお、持株会社であるファーストリテイリングに管理機能の一部を移管したことによる影響で、0.2ポイント人件費率が減少しておりますが、その分は委託費としてその他の項目に含まれております。

賃借料率も0.5ポイント改善しております。

店舗数の6割を占めるロードサイド店の大半は固定家賃であるため、既存店の売上が好調であったことにより効率が改善しております。

アジアで収益拡大、営業利益は計画を上回る

アジア 順調に拡大(店舗数 08/8末 39店舗 09/2末 55店舗)

中国・香港 出店は計画通り、売上・営業利益は計画を上回る

韓国 売上(ウォンベース)好調、一部商品値上げで採算改善

欧米 英国の赤字幅縮小(店舗数 08/8末 15店舗 09/2末 16店舗)

米国 ほぼ計画どおりに推移

英国 ボンドベースで既存店売上高は二桁増収、赤字幅は縮小

フランス グローバル旗艦店 出店準備コストで赤字

単位: 億円

		2008年8月期	2009年8月期	
		2Q累計実績	2Q累計実績	前年同期比
海外ユニクロ事業	売上高	158	186	+ 17.9%
	営業損益	7	16	+ 110.9%
	(売上比)	4.8%	8.6%	+ 3.8p

10

海外ユニクロ事業については、売上高は186億円と前年同期比17.9%増、営業利益は16億円と前年同期比で9億円増加しました。

売上高は円高の影響をうけて計画を下回っておりますが、現地通貨ベースでの売上は各国とも順調に推移しております。

とくにアジアでは、売上・利益とも好調で、営業利益は円ベースでも計画を上回りました。

中国・香港では計画通り9店舗を出店することができ、売上、利益とも計画を上回りました。

韓国では、現地通貨ベースの売上は計画を上回っておりますが、円高により円換算後の売上は計画を下回りました。

また、ウォン安により第1四半期の採算性は悪化傾向にありましたが、年末に一部商品の値上げを実施し、採算性が改善したことから、第2四半期累計の営業利益は計画を上回りました。

米国は、売上、利益ともほぼ計画通りに推移しております。

英国では、現地通貨ベースの既存店売上高は二桁増収を維持しており、赤字幅は縮小しております。

フランスにつきましては、現在パリ・オペラ地区にて出店準備中のグローバル旗艦店の出店準備コストの影響により赤字となっております。

第2四半期は営業赤字、経営改革を継続
キャビン **景気悪化を受け売上未達により営業赤字**
GOVリテイリング **経営改革を推進中、業績はほぼ計画通り**
ジーユー事業 **増収、採算も改善**
靴事業 **若干の売上未達**
 (靴事業:フットパーク事業・ビュー事業)

単位: 億円

		2008年8月期	2009年8月期	
		2Q累計実績	2Q累計実績	前年同期比
国内関連事業	売上高	227	244	+ 7.3%
	営業損益	11	11	-
	(売上比)	-	-	-

11

国内関連事業ですが、売上高は244億円と前年同期比7.2%増となりましたが、営業損失は11億円と前年並みの結果となりました。

キャビンは景気悪化の影響を受け、売上が計画未達となったため、第2四半期累計では営業赤字となっております。

GOVリテイリングは、引き続き経営改革を推進しており、業績は、ほぼ計画通り赤字幅を縮小しました。

ジーユー事業では既存店の売上も好調で、採算も改善しております。カシミアタッチニットケープなどのジーユーならではの商品が寄与したことなどが要因です。

フットパーク、ビューの靴事業では若干の売上未達となっております。

欧州の景気減速・円高により減収減益
コントワー・デ・コトニエ事業 ほぼ計画どおり
ユーロベースの売上高は微増収(欧州で減収、日本で増収)、営業減益
プリンセス タム・タム事業 ほぼ計画どおり
決算期変更の影響を除き、ユーロベースの売上高は横ばい、営業減益
(2008年第2四半期累計実績は8ヶ月間(07/7月～08/2月)の業績を連結)

単位: 億円

		2008年8月期	2009年8月期	
		2Q累計実績	2Q累計実績	前年同期比
グローバルブランド事業	売上高	240	169	29.6%
	営業損益	52	24	52.7%
	(売上比)	21.8%	14.7%	7.1p

プリンセス タム・タム事業の2008年8月期第2四半期累計実績には、決算期変更により、2007年7～8月の売上高約27億円、営業利益約6億円が含まれています。
 持分法適用関連会社であるリンク・セオリー・ホールディングスについては、営業外損益として、「持分法による投資損失(08/9～09/2)」1,383百万円を計上しています。

12

グローバルブランド事業は、ヨーロッパでの景気減速・円高の影響により円ベースでの売上高が169億円、前年同期比29.6%減、営業利益は24億円、52.7%減となっております。ユーロベースで前年同期間を比べた業績は、売上高が微増収、営業損益は約3割の減益です。

コントワー・デ・コトニエ事業は、ヨーロッパにおいて既存店売上高が1割減で、欧州全店ベースでも減収となりましたが、日本での売上が順調に拡大していることから、全社の売上高はユーロベースで微増収となりました。ユーロベースの営業損益は約2割減となっておりますが、売上、利益とも、ほぼ計画どおりの水準です。

プリンセス タム・タム事業は、決算期変更の影響を除くと、ユーロベースの売上高は前年比で横ばい、営業損益は減益となっておりますが、こちらもほぼ計画通りの水準です。

また、持分法適用関連会社であるリンク・セオリー・ホールディングスについては、営業外費用として持分法投資損失を13億円計上しております。

単位: 億円

	2008年8月末	2009年2月末	増 減
総資産	4,047	4,629	+582
流動資産	2,636	3,249	+612
固定資産	1,410	1,379	30
負債	1,407	2,044	+636
純資産	2,640	2,585	54

13

2009年2月末の連結バランスシートのご説明をさせていただきます。

2008年8月末との比較では、
流動資産が612億円増加し、固定資産が30億円減少した結果、
全体の総資産は582億円増加して4,629億円となりました。

詳細については、次の頁でご説明いたします。

現金・預金及び有価証券の増加 +569億円（1,701億円 2,270億円）

- 【国内ユニクロ事業】 営業キャッシュフローの増加

たな卸資産の増加 +27億円（537億円 565億円）

【国内ユニクロ事業】 2月末残高 415億円（08/8月末比） +52億円

（前年同期末比） +36億円 春夏コア商品の店頭在庫積み増し

有形固定資産の減少 13億円（403億円 389億円）

【国内ユニクロ事業】 +5億円 【海外ユニクロ事業】 10億円

【グローバルブランド事業】 10億円

為替予約勘定(資産)の減少 444億円（資産66億円 負債378億円）

【国内ユニクロ事業】 円高の進行に伴うもの。損益への影響は無し

14

流動資産ですが、現預金及び有価証券の合計額は2,270億円と、前期末比で569億円増加いたしました。これは、国内ユニクロ事業の営業キャッシュフローの増加によるものです。

たな卸資産は565億円と、前期末比では27億円増加しております。国内ユニクロ事業の2月末の在庫は415億円と2008年8月末比では52億円増加しております。また、前年同期末比でも36億円の増となっております。これは、春夏シーズンのコア商品を中心に店頭在庫を積み増したことに伴います。

有形固定資産は、前期末比で13億円減少しております。国内ユニクロ事業の出店に伴い5億円増加しましたが、為替レートの影響により、海外ユニクロ事業で10億円、グローバルブランド事業で10億円それぞれ減少していることなどによるものです。

為替予約勘定が前期末比444億円減少しております。これは円高の進行に伴うもので、ヘッジ会計を適用していることから損益への影響はございません。

売上高、営業利益を増額修正

	2008年 8月期実績	2009年8月期		2009年8月期			単位：億円
		直近予想 (1/9時点)	前期比	修正予想 (4/9時点)	前期比	直近予想比	
売上高 (売上比)	5,864 100.0%	6,270 100.0%	+ 6.9%	6,600 100.0%	+ 12.5%	+ 5.3%	
売上総利益 (売上比)	2,936 50.1%	3,130 49.9%	+ 6.6% (0.2p)	3,295 49.9%	+ 12.2% (0.2p)	+ 5.3% (+ 0.0p)	
販管費 (売上比)	2,061 35.2%	2,140 34.1%	+ 3.8% (1.1p)	2,285 34.6%	+ 10.8% (0.5p)	+ 6.8% (+ 0.5p)	
営業利益 (売上比)	874 14.9%	990 15.8%	+ 13.2% (+ 0.9p)	1,010 15.3%	+ 15.4% (+ 0.4p)	+ 2.0% (0.5p)	
経常利益 (売上比)	856 14.6%	950 15.2%	+ 10.9% (+ 0.6p)	950 14.4%	+ 10.9% (0.2p)	+ 0.0% (0.8p)	
特別損益 (売上比)	37 0.6%	14 0.2%	- (+ 0.4p)	14 0.2%	- (+ 0.4p)	- (0.0p)	
当期純利益 (売上比)	435 7.4%	500 8.0%	+ 14.9% (+ 0.6p)	500 7.6%	+ 14.9% (+ 0.2p)	+ 0.0% (0.4p)	

2009年8月期予想：設備投資額 220億円、減価償却費 100億円
 2008年8月期実績：設備投資額 210億円、減価償却費 85億円

15

2009年8月期の業績予想についてご説明します。

通期の連結売上高は、直近予想の6,270億円から6,600億円へ、
 営業利益は990億円から1,010億円へと修正いたします。

なお、経常利益は950億円、当期純利益は500億円と直近予想から変更は
 ございません。

売上高190億円、営業利益50億円増額修正

単位: 億円

	2008年8月期	2009年8月期		2009年8月期		
	通期実績	直近予想 (1/9時点)	前期比	修正予想 (4/9時点)	前期比	直近予想比
売上高 (売上比)	4,623 100.0%	5,020 100.0%	+ 8.6%	5,210 100.0%	+ 12.7%	+ 3.8%
売上総利益 (売上比)	2,241 48.5%	2,430 48.4%	+ 8.4% (- 0.1p)	2,517 48.3%	+ 12.3% (- 0.2p)	+ 3.6% (- 0.1p)
販管費 (売上比)	1,376 29.8%	1,430 28.5%	+ 3.9% (- 1.3p)	1,467 28.2%	+ 6.5% (- 1.6p)	+ 2.6% (- 0.3p)
営業利益 (売上比)	864 18.7%	1,000 19.9%	+ 15.7% (+ 1.2p)	1,050 20.2%	+ 21.5% (+ 1.5p)	+ 5.0% (+ 0.3p)

16

国内ユニクロ事業の業績予想は、第2四半期まで計画を上回ったことを反映すると同時に、第3四半期以降の業績予想を修正し、売上高5,210億円、営業利益1,050億円といたします。

これは直近の予想に比べ、売上高で190億円、営業利益で50億円の増額修正となっております。

	2008年8月期 実績	2009年8月期			
		直近予想 (1/9時点)	修正予想 (4/9時点)	前期比	直近予想比
売上高	4,623 億円	5,020 億円	5,210 億円	+12.7%	+3.8%
既存店伸び率(通期)	+2.9%	+5.8%	+8.2%	+5.3p	+2.4p
上期(実績)	+1.5%	+9.6%	+12.9%	+11.4p	+3.3p
下期(予想)	+4.8%	+1.0%	+2.3%	2.5p	+1.3p
売上高総利益率(通期)	48.5%	48.4%	48.3%	0.2p	0.1p
上期(実績)	47.6%	48.3%	48.5%	+0.9p	+0.2p
下期(予想)	49.5%	48.5%	48.0%	1.5p	0.5p
売上高販管費率(通期)	29.8%	28.5%	28.1%	1.7p	0.4p
上期(実績)	27.7%	25.9%	25.3%	2.4p	0.6p
下期(予想)	32.3%	31.9%	31.9%	0.4p	+0.0p

国内ユニクロ事業の業績予想の前提は、ご覧のとおり修正しております。

下期の既存店売上高伸び率は直近予想の1.0%から2.3%に修正します。

今月オープンする新宿西口店のような売上規模の大きい大型店の出店を計画していることなどから、新店による増収額が直近予想と比べて増えております。

売上高総利益率は、昨年下期に秋商品の立ち上がり好調だったことから非常に高い水準であったことをふまえ、当下期は1.0ポイント下がることを見込んでおりましたが、市場環境が一段と厳しさを増しており、価格競争の激化も予想されることから、直近予想の48.5%を更に引き下げ、48.0%へと修正いたします。

業績は順調に拡大、為替の影響を修正
 円高に伴い売上高を減額修正
 アジア地区で利益が計画を上回ったことに
 伴い営業利益を増額修正

単位: 億円

		2008年8月期	2009年8月期		2009年8月期		
		通期実績	直近予想 (1/9時点)	前期比	修正予想 (4/9時点)	前期比	直近予想比
海外ユニクロ事業	売上高	293	410	+ 39.7%	370	+ 26.1%	9.8%
	営業損益	3	10	+ 177.8%	15	+ 316.7%	50.0%
	(売上比)	1.2%	2.4%	+ 1.2p	4.1%	+ 2.9p	0.0p

2009年8月期下期 予想為替レート

1USD= 95.0円 1EUR=125.0円 1GBP=140.0円 100KRW=7.5円

18

海外ユニクロ事業ですが、現地通貨ベースの売上高は計画を上回る水準で順調に拡大しているものの、為替が期初予想時に比べて円高に推移していることから、通期の海外ユニクロ事業の売上高を410億円から370億円に減額修正いたします。これは、主にウォン安、ポンド安の影響によるものです。

通期の営業利益は、上期にアジア地区などで計画を上回ったことから、10億円から15億円へと増額修正いたします。

キャビン事業を減額修正、GOVリテイリングは計画通り

キャビン事業 ファッション業界の厳しい環境により赤字
ザジ、アンラシーネの主力ブランドに経営資源集中

GOVリテイリング 経営改革を推進

ジーユー事業 「990円ジーンズ」など低価格アイテム継続投入
靴事業 自社企画商品の完成度を高め、商品計画の精度向上、
不採算店舗の閉店により収益性の改善を目指す

(靴事業:フットパーク事業・ビュー事業)

単位: 億円

		2008年8月期	2009年8月期		2009年8月期		
		通期実績	直近予想 (1/9時点)	前期比	修正予想 (4/9時点)	前期比	直近予想比
国内関連事業	売上高	494	500	+ 1.0%	480	3.0%	4.0%
	営業損益 (売上比)	28	10	-	20	-	-
		-	-	-	-	-	-

19

国内関連事業の通期業績予想ですが、売上高で480億円、営業損失で20億円といたします。直近の予想から売上高20億円、営業損失10億円の下方修正となります。

キャビン事業は、ザジ、アンラシーネの主力ブランドに経営資源を集中し、事業改革を進めておりますが、ファッション業界で厳しい市場環境が続くと見込まれることから、通期の売上高、営業損益を減額修正し、営業赤字となる見込みです。

GOVリテイリングの、通期の業績予想は変更ございません。

ジーユー事業では、先日発売いたしました「990円ジーンズ」が好評を博しており、今後も低価格の新商品を継続的に投入していく計画です。

なお、ジーユーの店舗数は、通期で12店舗増を予定しております。

フットパーク、ビューの靴事業につきましては、引き続き厳しい市場環境が続いておりますが、自社企画商品の完成度を高め、商品計画の精度を向上するとともに、不採算店舗の閉店をすすめることで収益性の改善を目指します。

リンク社の連結を開始

コントワー・デ・コトニエとプリンセス タム・タムは修正なし

通期売上高 310億円、営業利益30億円
 ユーロベース前年比：売上高 横ばい、営業利益 3割減
 通期既存店売上高前年比 13%
 円高による業績への影響 23%

リンク・セオリー・ホールディングスの連結を下期より開始

下期売上高 203億円 営業損失 6億円 連結のれん償却額12億円

単位：億円

		2008年8月期	2009年8月期		2009年8月期		
		通期実績	直近予想 (1/9時点)	前期比	修正予想 (4/9時点)	前期比	直近予想比
グローバルブランド事業	売上高	437	310	29.1%	513	+ 17.3%	+ 65.5%
	営業損失 (売上比)	77	30	61.3%	24	69.1%	20.0%
		17.7%	9.7%	8.0p	4.7%	13.0p	5.0p

コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業 2009年8月期下期 予想為替レート 1EUR=125.0円
 リンク・セオリー・ホールディングス 2009年8月期下期 予想為替レート 1USD=91.0円
 リンク・セオリー・ホールディングスの株式追加取得に伴うのれんの発生額は145億円(償却期間：6年間)、20
 当下期の連結業績に与える影響は約12億円を見込んでおります。

グローバルブランド事業ですが、コントワー・デ・コトニエ事業、
 プリンセス タム・タム事業は売上、利益ともほぼ直近予想どおりに推移
 しているため、通期の売上高310億円、営業利益30億円とし、
 修正はありません。

なお、ユーロベースでの前年比は、売上高は横ばい、営業利益3割減益の
 見通しです。

両事業の通期の既存店売上高は前年比マイナス13%を予想しております。
 また、円高による通期業績への影響はマイナス23%程度となる見込みです。

3月12日にリンク・セオリー・ホールディングスのTOBが終了し、下期より
 連結を開始するため、その影響額が売上高203億円、営業損失6億円
 となります。

その結果、グローバルブランド事業全体の予想を売上高513億円、
 営業利益24億円に修正いたします。

なお、リンク・セオリー・ホールディングスの株式追加取得に伴うのれんの
 償却額は、のれんの金額が145億円、償却期間が6年間であることから、
 当期の連結業績に与える影響は12億円と見込んでおります。

国内ユニクロ事業： 増額修正
海外ユニクロ事業： 売上減額・利益増額
国内関連事業： 減額修正
グローバルブランド事業：リンク社を追加

単位：億円

		2008年8月期	2009年8月期		2009年8月期		
		通期実績	直近予想 (1/9時点)	前期比	修正予想 (4/9時点)	前期比	期初予想比
国内ユニクロ事業	売上高	4,623	5,020	+ 8.6%	5,210	+ 12.7%	+ 3.8%
	営業損益	864	1,000	+ 15.7%	1,050	+ 21.5%	+ 5.0%
	(売上比)	18.7%	19.9%	+ 1.2p	20.2%	+ 1.5p	+ 0.3p
海外ユニクロ事業	売上高	293	410	+ 39.7%	370	+ 26.1%	9.8%
	営業損益	3	10	+ 177.8%	15	+ 316.7%	50.0%
	(売上比)	1.2%	2.4%	+ 1.2p	4.1%	+ 2.9p	0.0p
国内関連事業	売上高	494	500	+ 1.0%	480	3.0%	4.0%
	営業損益	28	10	-	20	-	-
	(売上比)	-	-	-	-	-	-
グローバルブランド事業	売上高	437	310	29.1%	513	+ 17.3%	+ 65.5%
	営業損益	77	30	61.3%	24	69.1%	20.0%
	(売上比)	17.7%	9.7%	8.0p	4.7%	13.0p	5.0p

2009年8月期予想： のれん償却額 60億円

2008年8月期実績： のれん償却額 53億円

21

以上の結果、通期のグループ事業別業績予想はこのスライドのとおりです。

国内ユニクロ事業は売上高、営業利益とも増額修正しております。
海外ユニクロ事業につきましては、売上高を減額修正、営業利益を増額修正しております。

国内関連事業につきましては、売上高、営業損失とも減額修正しております。

グローバルブランド事業は、リンク・セオリー・ホールディングスを新規連結したことに伴い、売上高を増額、営業利益を減額修正しております。

2009年8月期 年間配当金 150円を予想

	2008年8月期(実績)		2009年8月期			
		中間	期末	中間	期末(予想)	
1株配当金	130円	65円	65円	150円	75円	75円

業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、配当金額を変更することがあります。

2009年8月期の1株当たり配当金は、中間配当金を75円といたしました。

年間では150円と、前期に比べ年間で20円の増配を予想しており、こちらは期初の予想から変更はございません。

また、ご参考として、

・出退店の一覧、
を添付いたしておりますのでご参照ください。

以上を持ちまして、私からのご説明とさせていただきます。

ありがとうございました。

連結対象会社別出退店 実績・予想

【単位:店舗】	08年8月		2009年8月期						
	実績 期末	2Q実績(2009/2末)			2Q 予想(2009/8末)				
		出店	退店	純増減	期末	出店	退店	純増減	期末
ユニクロ事業合計	813	44	20	+24	837	99	37	+62	875
国内ユニクロ事業:	759	26	19	+7	766	59	35	+24	783
直営店	740	25	19	+6	746	58	35	+23	763
大型店	50	11	0	+11	61	21	0	+21	71
標準店等	678	14	19	5	673	37	35	+2	680
専門店	12	0	0	0	12	0	0	0	12
FC	19	1	0	+1	20	1	0	+1	20
海外ユニクロ事業:	54	18	1	+17	71	40	2	+38	92
中国(除く香港)	13	6	0	+6	19	21	1	+20	33
香港	8	3	0	+3	11	3	0	+3	11
韓国	18	7	0	+7	25	12	0	+12	30
シンガポール	0	0	0	0	0	2	0	+2	2
英国	13	2	1	+1	14	2	1	+1	14
米国	1	0	0	0	1	0	0	0	1
フランス	1	0	0	0	1	0	0	0	1
キャビン	190	25	18	+7	197	40	25	+15	205
GOVリテイリング	457	11	54	43	414	30	122	92	365
ジーユー事業	58	6	7	1	57	23	11	+12	70
フットパーク事業	294	2	38	36	258	4	91	87	207
ビュー事業	105	3	9	6	99	3	20	17	88
リンク・セオリー・ホールディングス	-	-	-	-	-	7	12	5	227
コントワー・デ・コトニエ事業	348	16	2	+14	362	21	7	+14	362
プリンセス タム・タム事業	150	14	0	+14	164	17	2	+15	165
総合計	1,958	110	94	16	1,974	214	205	+9	2,194